

決算審査における事業評価の結果の反映状況

1 事業名等

事業番号	7	事業名 (実施計画名)	育児支援家庭訪問事業
事務事業名 (業務棚卸評価)	育児支援家庭訪問事業		
担当部課	こども育成部こども育成相談課		

2 決算審査における事業評価の結果

議会評価	拡充する
理由	本事業については、まだ始めて2年目の事業であり、適正な事業となるよう拡充して実施する必要がある。
附帯意見	結果が明確に把握できるしっかりとした目標が必要である。虐待への対応にどう生かしていくかについての検討も必要である。

3 評価結果の反映状況

	23年度予算額 (案)	(参考) 22年度予算額	(参考) 21年度決算額
事業費	1,380 千円	1,275 千円	812 千円
議会評価に対する考え方	<p>養育支援が必要と判断した家庭に、保健師や家庭児童相談員が訪問し、養育に関する指導や助言を行うとともに、ヘルパーによる育児、家事等の支援を行うことで、確実に保護者の負担軽減と虐待の未然防止ができていますと判断しています。なお、支援目標及び支援計画につきましては、今後も明確化に努めていきます。</p>		
今後の事業展望	<p>「こんにちは赤ちゃん訪問事業」など、各種母子保健事業及び関係機関からの情報提供により事業対象者の積極的な把握に努め、育児支援家庭訪問事業の充実を図ります。また、適正な支援目標の設定、支援計画の策定、及び支援中と支援後における評価を適切に行っていきます。</p>		